

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 30 年 6 月 27 日現在

機関番号：18001

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K11852

研究課題名(和文) 島嶼県沖縄の伝統型地域力が介護および介護扶養意識に及ぼす影響

研究課題名(英文) The influence of the traditional regional power of Okinawa Prefecture on nursing care and care support awareness

研究代表者

與古田 孝夫 (Yokota, Takao)

琉球大学・医学部・教授

研究者番号：80220557

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、伝統的地域特性が維持・継承されている沖縄県北部の過疎地域の地域在住高齢者を対象に、看取り・介護意識に焦点をあて、生きがい感や死生観、祖先崇拝などの伝統的な側面との関連から検討を行うことを目的とした。分析は、これまでに看取り経験のある対象者に焦点をあて、介護経験の有無により生きがい感や死生観、地域の祭祀や行事への参加状況、祖先崇拝などに関連した伝統的地域特性との関連から解析を行った。その結果、看取りや介護経験を有するものでは、生きがい感や肯定的な死生観を有しており、祖先との紐帯意識も高く地域愛着も高いことが示唆された。

研究成果の概要(英文)：In this study, we examined elderly people in the northern part of Okinawa prefecture where traditional regional characteristics are maintained, focusing on end-of-life care and caregiving experience. As a result, those having end-of-life care and caregiving experience had positive recognition in meaningful life and view of life and death. In addition, it was suggested that the consciousness of the ties with the ancestors and the regional attachment were also high.

研究分野：精神看護学

キーワード：看取り経験 介護経験 生きがい感 死生観 地域愛着

## 1 . 研究開始当初の背景

沖縄県北部地域は 1 市 11 町村からなる大部分が山林原野で占められており、沖縄県の約 36.2%の面積を占めるものの人口は県全体の約 9.2%と過疎化や高齢化が進行し、乏しい医療介護資源や高い高齢化率など多くの課題を抱えている。とりわけ、沖縄県の「沖縄県第 11 次へき地保健医療計画」において、へき地地域に指定されている地域においては、高い高齢者独居率や過疎化の進行が著しく、地域における介護施設や在宅サービスが未整備な状況にある。しかし、地域社会においては祖先崇拜を中心とする儀礼行為や民間信仰、相互に助け合う相互扶助（ユイマール）の存在など伝統的な社会文化的風土が培われており、こうした伝統的な社会文化的風土を基盤としたライフスタイルやメンタリティ、価値観は高齢者の QOL( quality of life ) の重要な要因の一つであり、自己アイデンティティの形成にも大きく影響を及ぼしていることが考えられる。

高齢者の死生観は宗教や社会文化的な影響を強く受けることが考えられるが、沖縄県を取り巻く社会経済情勢や振興策など、経済成長に伴い急速な都市化が進む現状のなか、これまで沖縄県の過疎地域高齢者を対象とした死生観に関する疫学的研究はほとんどなされていない。他府県にはみられない特有な地域特性を有する沖縄県北部地域において、こうした社会文化的風土に培われた高齢者の死生観と介護・看取り意識や生きがい感との関連について検討することは、高齢者が希望する住み慣れた地域で暮らし続け、地域で終末期を迎えるための地域社会の高齢者ケアを考える上で重要な示唆を得ることが期待できる。

## 2 . 研究の目的

本研究は、伝統的地域特性が維持・継承されている沖縄県北部の過疎地域の地域在住高齢者を対象に、死生観と介護・看取り意識

や生きがい感との関連から検討を行うことを目的とした。

## 3 . 研究の方法

平成 27 年 7 月現在、沖縄県の「沖縄県第 11 次へき地保健医療計画」において北部地域のへき地地域対象地区である国頭村全 20 地区の 65 歳以上地域高齢者、約 1,544 人を対象とし、そのうち回答の得られた 745 名（回収率 48.3%）を分析対象とした。調査に際しては、国頭村および名護市の首長へ調査協力の依頼を行い、承諾書にて承諾を得た。対象者の選定はプライバシーの保護の観点から、各自治体が所有する住民基本台帳をもとに当該自治体職員により行った。研究の対象となる地域住民に対しては、対象地域の区長および民生委員などの公的職責を有する調査員により調査協力依頼書を用いて説明を行い、同意の得られた対象者に対して訪問面接聞き取り調査を実施した。

調査内容は、1) 性別、年齢、学歴、経済状況や宗教の有無などの基本属性、2) 祖先崇拜や地域行事への参加状況、3) 生活習慣や健康状況、4) 家族・親族や地域住民との交流状況、5) ソーシャルサポートおよびソーシャルキャピタルや地域愛着の測定、6) 生活満足感や生きがい感の測定、7) 過去の看取り経験の有無、8) 高齢者観や介護不安、延命治療への認識、9) 死生観の測定などから構成されている。

分析は、これまでに看取り経験のある対象者に焦点をあて、介護経験の有無によりいきがい感や死生観、地域の祭祀や行事への参加状況、祖先崇拜などに関連した伝統的地域特性との関連からロジステック回帰分析により解析を行った。

## 4 . 研究成果

生きがい感との関連では「いきがい感総得点」、下位尺度の「未来に対する肯定的意識」、「自己存在の意味の認識」で有意な関連を認め、介護経験のあるものでその意識も高かつ

た。

死生観との関連では、「解放としての死」,  
「人生における目的意識」との間で有意な関  
連を示し、介護経験のあるものでその意識も  
高かった。

伝統的な祖先祭祀に関する事項では、祭祀  
や行事に役割を有するもの、祖先に存在意味  
に関して「不安の解消」、「安らぎ」、「生きが  
い」などの精神的側面において、いずれも介  
護経験のあるものでその意識も高かった。

地域愛着との関連でみると、「持続願望」  
で有意な関連を認め介護経験のあるもので  
その意識も高かった。

以上の結果から、看取りや介護経験を有す  
るものではいきがい感や肯定的な死生観を  
有し、祖先との紐帯意識も高く、心的安寧に  
重要な役割を果たしていることが示唆され  
た。

看取り経験者の属性

		N	%
性別	男性	214	43.5
	女性	278	56.5
年齢		76.71 (8.49)	
婚姻状況	既婚	277	58.2
	それ以外	199	41.8
経済状況	苦しい	240	50.5
	ゆとりあり	235	49.5
教育	義務教育まで	228	47.5
	高等教育以上	252	52.5
宗教	なし	104	23.0
	先祖崇拜	348	77.0
介護経験	有	193	38.9
	無	303	61.1

看取り経験者の介護経験の有無と各変数との関連

	AOR	95%信頼区間	P値
死生観尺度			
死後の世界観(0:低群)	1.15	0.73 - 1.82	0.55
死への恐怖・不安(0:低群)	1.01	0.63 - 1.62	0.95
解放としての死(0:低群)	1.63	1.02 - 2.59	0.04
死からの回避(0:低群)	0.76	0.48 - 1.20	0.24
人生における目的意識(0:低群)	2.15	1.31 - 3.52	0.00
死への関心(0:低群)	1.32	0.83 - 2.09	0.25
寿命感(0:低群)	0.97	0.61 - 1.54	0.88
祖先の存在意味			
不安解消(0:思わない)	1.70	1.05 - 2.74	0.03
安らぎ(0:思わない)	1.83	1.12 - 2.98	0.02
生きがい(0:思わない)	1.86	1.14 - 3.03	0.01
習慣(0:思わない)	1.25	0.76 - 2.04	0.38
先祖供養(0:思わない)	1.04	0.56 - 1.92	0.91
拝みの有無(0:しない)	1.41	0.86 - 2.29	0.17
伝統行事への参加			
行事参加(0:なし)	1.60	0.86 - 2.99	0.14
役割有無(0:なし)	1.94	1.10 - 3.40	0.02
IKIGAI9			
人生における肯定的意識(0:低群)	1.57	0.97 - 2.54	0.07
未来に対する肯定的意識(0:低群)	2.35	1.42 - 3.86	0.00
自己存在意味認識(0:低群)	1.84	1.15 - 2.95	0.01
合計(0:低群)	2.05	1.25 - 3.36	0.00
ソーシャルネットワーク			
別居家族(週1以下)	0.57	0.36 - 0.92	0.02
親戚(週1以下)	1.04	0.67 - 1.62	0.87
友人(週1以下)	0.83	0.49 - 1.39	0.47
ソーシャルサポート			
情緒的受領(0:低群)	1.17	0.59 - 2.31	0.65
情緒的提供(0:低群)	1.70	0.95 - 3.04	0.07
手段的受領(0:低群)	1.09	0.56 - 2.13	0.80
手段的提供(0:低群)	1.58	0.84 - 2.94	0.15
ソーシャルキャピタル			
信頼(0:いいえ)	0.78	0.45 - 1.35	0.38
互酬性(0:いいえ)	1.28	0.74 - 2.21	0.39
地域愛着			
選好(0:低群)	1.55	0.97 - 2.47	0.07
感情(0:低群)	1.50	0.94 - 2.38	0.09
持続願望(0:低群)	1.73	1.10 - 2.72	0.02
合計(0:低群)	1.48	0.92 - 2.39	0.10

調整変数:性別 年齢 婚姻 学歴 暮らし 宗教

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に  
は下線)

[雑誌論文](計0件)

[学会発表](計0件)

[図書](計0件)

[産業財産権]

出願状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者：

無（ ）

種類：

番号：

研究者番号：

出願年月日：

国内外の別：

(4)研究協力者

無（ ）

取得状況（計0件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1)研究代表者

與古田孝夫 (YOKOTA, Takao)

琉球大学・医学部・教授

研究者番号：80220557

### (2)研究分担者

古謝安子 (KOJYA, Yasuko)

琉球大学・医学部・教授

研究者番号：30305198

### (2)研究分担者

豊里竹彦 (TOYOSATO, Takehiko)

琉球大学・医学部・教授

研究者番号：40452958

### (2)研究分担者

高原美鈴 (TAKAHARA, Misuzu)

琉球大学・医学部・助教

研究者番号：60522191

### (3)連携研究者